1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川公	園															
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	0	9	3								
					₹	1	9	0		0	0	2	2	区ī	市町	村。	名身	東京都立	川市			
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	* 地下	錦町	T6-	29-	62											
事	業所等	いまり かいこう	延床面	ī積		171	,473	.00	m^2			「等 レギ			責年 用:		か 間	■ 1年月	度分] 14	年未満
所	有		形	態		自己	引所を	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)— [‡]	邪(ラ	テナン	/ト)			建物の	〇一剖	3(そ	の他	7)
- 共口	告範囲	n i	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	う販)			商業旗	包設(1	飲食	()	
羊区	口即进	ツ土	:/このH	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	設				その他	1			
に	本 標 おける	細り	分類番	号	8	0	5	1		鎖化	(事)				直営		[□ 加盟	直店		▮∄	該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の	可能受入	ニエネ	バルギ	一電		コ 証書 の利	ドによる 用	環境	竟価値	値
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 3	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		H = 1 - 1 1 1 1	推計		法 田目	区业	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の出	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	7,229.0	9.76	70.6	0.4890	3.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 70.6		3.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	912.0			0.2660	0.2
他	公共下水道	-		m^3	912.0	/		0.4000	0.4
	-	合 計				/			0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

	地球温暖化対策		重点対	大策			その他対策
		対策番号		対策名	3	対策番号	対策名
		A205	取組内容や点	検体制の定期的	改善		
糸日 :	織体制の整備						
dar)	版 P III V 正 III						
		D100	18 4 a m 2 b)	- 1.2 <i>E</i>		D101	4> 1 ~ ~ \(\) \(
	ネルギー等の		主要設備の使	こよる傾向の把握	i	B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較
使	用状況の把握	D107	土安政州の医	円 4人 (ルック1 L 1)至 		D109	エイルイ 使用重り削牛及比較
	Τ					C101	空室・不在時等のこまめな消灯
						C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
						C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策						
省							
工							
ネル							
ギ		5101	0.000			5101	
一 対		D101	ランプ等の定期	別的な清掃・交換		D104	空調フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策					D108	その他設備の定期的な保守・点権
	設備導入対策						
+-4	また広の日標法式			4 (4			
夫的	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達原	えした。			
5	提出年度の地球	え温暖化を	策の目標				
目	標の有無		無無]			
		ベンチマー	ク区分	=	ランク	CO ₂	,削減率(前年度比)
目核	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	k	g-CO ₂ /	$/m^2$ CO_2	排出量(総量)
		その他		特記事項に内			
6	特記事項						

1 事業所等の概要

事	業	折 等	の名	3 称	諏訁	方の	森公	遠														
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	0	9	4								
					Ŧ	1	9	0	ı	0	0	2	3	区	市	町	村	名	東京都立川	市		
事	業所	等の	り所る	生地	町以以	名番	地下	柴崎		-1-												
事	業所	等の	延床	面積		11	,837	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の : 	実績使	漬 ²	年.	度朝	の 間	■ 1年度	分		1年未満
所	-	有	形	態		自己	引所不	有		〕他	者列	斤有										
報	. /	냨	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	・ナン	ント)			〕建物の−	一部	(その)他)
扣	生	田の一	主たる <i>。</i>	田之		事務	新					商業	纟施言	没(4	勿則	<u>(</u>)			〕商業施設	殳(飲	(食)	
平区	口 単山	<u>ガ</u> マノ <u>ニ</u>	E/こる,	用		工場	<u>司</u> 切					複合	施	設					その他			
	おけ	る細	全業	番号	8	0	5	1	連	鎖化					·	〔営			□ 加盟店	i		非該当
再の	生 可 利	能 エ 用	ネル: 状	ギー 況			三可能 記設備			_		再生気の	:可能 :受入		ネル	ギー	一電	ı	□ 証書に の利用		環境	 面值
前 か			报告 P 変 更																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 4	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 8	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 8	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		四五 (1・>1-11)	推計			开 . 业.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (ii)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	16,968.0	9.76	165.6	0.4890	8.3
規則]第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 165.6		⁽¹⁵⁾ 8.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,134.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,134.0	/		0.4000	0.5
	-	合 計							0.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		重点対	大策			その他対策
		対策番号		対策名	3	対策番号	対策名
		A205	取組内容や点	検体制の定期的	改善		
糸日 :	織体制の整備						
dar)	版 P III V 正 III						
		D100	18 4 a m 2 b)	- 1.2 <i>E</i>		D101	4> 1 ~ ~ \(\) \(
	ネルギー等の		主要設備の使	こよる傾向の把握	i	B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較
使	用状況の把握	D107	土安政州の医	円 4人 (ルック1 L 1)至 		D109	エイルイ 使用重り削牛及比較
	Τ					C101	空室・不在時等のこまめな消灯
						C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
						C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策						
省							
工							
ネル							
ギ		5101	0.000			5101	
一 対		D101	ランプ等の定期	別的な清掃・交換		D104	空調フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策					D108	その他設備の定期的な保守・点権
	設備導入対策						
+-4	また広の日標法式			4 (4			
夫的	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達原	えした。			
5	提出年度の地球	え温暖化を	策の目標				
目	標の有無		無無]			
		ベンチマー	ク区分	=	ランク	CO ₂	,削減率(前年度比)
目核	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	k	g-CO ₂ /	$/m^2$ CO_2	排出量(総量)
		その他		特記事項に内			
6	特記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	砂厂	川公	園															
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	0	9	5								
					₹	1	9	0		0	0	3	1	区ī	市 町	村。	名 東	京都立	川市			
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	地 下	砂川	町7	-8-	-14											
事	業所等	多の多	延床面	ī積		12	,950	.00	m^2		業				責年 用:		か 間	1年度	度分		1年	未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—≒	郭(ラ	ーナン	√ ト)			建物の	一部	(その	の他))
却	告範囲	\rightarrow	・たて日	1 冷		事務	丽					商業	纟施言	没(物	加販)			商業施	設(負	次食)	
羊収	古軋曲	り 土	こにつけ	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	没				その他	ı			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	0	5	1		鎖化	(事)				直営			加盟	店		非語	亥当
再の	生可能	とエノ 用	ネルキ 状	· 況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	エネ	ルギ	一電		証書 の利	による 用	環境	価値	
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 3	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計			1元 半4	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の # E	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	6,616.0	9.76	64.6	0.4890	3.2
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					64.6		¹⁵ 3.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	221.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	221.0			0.4000	0.1
	-	合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		重点対	大策			その他対策
		対策番号		対策名	3	対策番号	対策名
		A205	取組内容や点	検体制の定期的	改善		
糸日 :	織体制の整備						
dar)	版 P III V 正 III						
		D100	18 4 a m 2 b)	- 1.2 <i>E</i>		D101	4> 1 ~ ~ \(\) \(
	ネルギー等の		主要設備の使	こよる傾向の把握	i	B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較
使	用状況の把握	D107	土安政州の医	円 4人 (ルック1 L 1)至 		D109	エイルイ 使用重り削牛及比較
	Τ					C101	空室・不在時等のこまめな消灯
						C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
						C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策						
省							
工							
ネル							
ギ		5101	0.000			5101	
一 対		D101	ランプ等の定期	別的な清掃・交換		D104	空調フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策					D108	その他設備の定期的な保守・点権
	設備導入対策						
+-4	また広の日標法式			4 (4			
夫的	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達原	えした。			
5	提出年度の地球	え温暖化を	策の目標				
目	標の有無		無無]			
		ベンチマー	ク区分	=	ランク	CO ₂	,削減率(前年度比)
目核	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	k	g-CO ₂ /	$/m^2$ CO_2	排出量(総量)
		その他		特記事項に内			
6	特記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	柴岬	奇市	民体	玄育的	館												
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	3	8							
					₹	1	9	0	_	0	0	2	4	区ī	市町	村。	名頁	東京都立	川市		
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	F 地 下	柴峪	5町6	-15	-9										
事	業所等	多の多	延床面	ī積		6	,433	.58	m^2		業				責年 用:		の 間	1年度	ま分		1年未活
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)一岩	部(ラ	テナン	/ト)			建物の	一部	(その)他)
华口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	う販)			商業施	設(食	欠食)	
常区	口軋团	(ノ土	:/この月	力还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	設				その他			
に	本 標 おける	細り	分類番	号号	8	0	4	2		鎖化	と事 き				直営			□ 加盟	店		非該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ と置	_		再生 気の	可能受入	ニエネ	バルギ	一電		コ 証書(の利)		環境	価値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 412	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	^② 799	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 6	t
	総計(④=②+③)	^④ 805	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 124.1	$kg-CO_2/m^2$

		四重4小川	推計			4.4.11.1	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8)×9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	162,151.5	45.00	7,296.8	0.0136	363.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
2003	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	891,600.0	9.76	8,702.0	0.4890	436.0
規貝	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 15,998.8		¹⁵ 799.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,707.0			0.2660	1.5
他	公共下水道			m^3	13,457.0			0.4000	5.4
		合 計							6.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対象	策
		対策番号		対策名		対策番号	対	策名
						A202	温暖化対策推進	担当の配置
žП ́si	戦体制の整備							
队上, 形	取 仲 刑 り 笠 浦							
	シュギ たの					B101	自ら入手可能な作	青報に基づく把握
すり	ネルギー等の 用状況の把握							
						C101	空室•不在時等の	
						C114	事務用機器を省る	ェネモードに設定
	運用対策							
省								
エ								
ネル								
ギ								
]								
対第	設備保守対策							
/K	Be my bit 1 7/3 7/4							
						E101	高効率照明ランプ	プの採用(屋内)
	設備導入対策							
	is a find of a sold a sha							
主結	 賃年度の目標達成	の米沼	□ 目標達原	む) た				
八小	(1) (2) 日 (水) (2) (4)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		X07C ₀				
5	提出年度の地球	浅温暖化対	策の目標					
1	標の有無		無無					
		ベンチマー			ランク	СО	2削減率(前年度比)	9
目標	栗値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CC			t
		その他		特記事項に				
		C *> E		10 III 4 . X(C)	147.5	HU #X		
3 <i>!</i>	持記事項							
, -								

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	泉ī	市民	体育	館													
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	3	9							
					Ŧ	1	9	0	_	8	6	6	6	区	市町	村	名	東京都立川市	ī		
事	業所	等の	所 在	地	町は以	名 番	* 地下	泉町	ſ786	-11											
事	業所等	争の変	延床面	ī積		8	,452	.23	m^2		業				責 年 用		の 間	■ 1年度分		□ 1	年未満
所	有		形	態		自己]所	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	部(そ	その化	也)
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	(飲1	食)	
羊区	口即进	(ノ土	ここの月	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	0	4	2		鎖化	と事 き				直営			□ 加盟店		■ ∌	丰該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	三 、 、	ベルギ	一電		□ 証書によ の利用	る環	境価	値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 215	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 416	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 8	t
	総計(④=②+③)	⁴ 424	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 49.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	69,697.7	45.00	3,136.4	0.0136	156.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者の素値関すると	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	532,617.0	9.76	5,198.3	0.4890	260.4
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 8,334.7		416.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	12,223.0			0.2660	3.3
他	公共下水道	-		m^3	12,223.0	/		0.4000	4.9
		合 計				/			8.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

A202 温暖化対策推進担当の配置 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C104 採光を利用した消灯の実施 C114 事務用機器を省エネモードに設定 D108 その他設備の定期的な保守・点検 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御		地球温暖化対策		重点交	 			その他対策	
B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C104 採光を利用した消灯の実施 C114 事務用機器を省エネモードに設定 D108 その他設備の定期的な保守・点検 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御			対策番号		対策名		対策番号	対策	名
C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C104 採光を利用した消灯の実施 下 3 下 3 下 3 下 4 下 5							A202	温暖化対策推進担	当の配置
C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C104 採光を利用した消灯の実施 下 3 下 3 下 3 下 4 下 5	公日 幺	織体制の整備							
C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C104 採光を利用した消灯の実施 下	/γ.α. /								
C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C104 採光を利用した消灯の実施 下									
C104 採光を利用した消灯の実施 C114 事務用機器を省エネモードに設定 D108 その他設備の定期的な保守・点検 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御	工	ネルギー等の					B101	目ら入手可能な情報	最に基づく把握
C104 採光を利用した消灯の実施 C114 事務用機器を省エネモードに設定 D108 その他設備の定期的な保守・点検 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御	使丿	用状況の把握		_					
C104 採光を利用した消灯の実施 C114 事務用機器を省エネモードに設定 D108 その他設備の定期的な保守・点検 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御							C101	空室・不在時等のこ	 まめな消灯
D108 その他設備の定期的な保守・点検 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御									
E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御								事務用機器を省エス	ネモードに設定
E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御									
E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御		運用対策							
E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御	省								
E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御	工								
E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御	ネル								
E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E125 高輝度誘導灯の導入 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御	ギ						D100	w = 11 30 Hb = daller	/
E125高輝度誘導灯の導入E111ポンプ・ファンのインバータ制御	 対						D108	その他設備の定期に	内な保守・点検
E125高輝度誘導灯の導入E111ポンプ・ファンのインバータ制御	策	設備保守対策							
E125高輝度誘導灯の導入E111ポンプ・ファンのインバータ制御									
E125高輝度誘導灯の導入E111ポンプ・ファンのインバータ制御							E101	高効率照明ランプの)採用(屋内)
E111 ポンプ・ファンのインバータ制御									
F133 「篩水哭目の坯田		設備導入対策							
							E133	節水器具の採用	
N 16		# F F & P F / P	S a distribution		D.)	7			
₹U1€。	美約	責年度の目標達成	だの状況		或した。 				
	5	提出年度の地球	 温暖化気	├第の日樗					
					1				
			ベンチマー			ランク	CC	2削減率(前年度比)	%
ランク CO ₂ 削減率(前年度比) %	目標	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CC	o_2/m^2 CC	2排出量(総量)	t
			その他		特記事項		•	<u> </u>	
	5 目	責年度の目標達成 提出年度の地球標の 有 無	だの状況	■ 無 ク区分			E133	節水器具の採用 2削減率(前年度比)	
(U/L ₀	大 心	₹十尺 [∨] /口/示压//	~~~\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		J, U/C ₀	_			
					1				
	Ħ	に の 有 悪				=> . />	Icc	机结本/共产库口/	0.
二、九 (〇 当)社交(美尔英山)	□ 4 1								
	日化	派胆寺(迭代)		(•	2切印工工工(総重)	τ
kg - CO_2/m^2 CO_2 排出量(総量) t			その他		符記事場(二円谷を	記載		

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川公	園里	予 球块	揚												
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	4	0							
					Ŧ	1	9	0		0	0	2	2	区ī	市町	村:	名	東京都立川市	i		
事	業所	等 の	所在	地	町:以	名 番	* 地下	錦町	T6-1	29-											
事	業所等	争のす	延床面	ī積		20	,368	.00	m^2		業				責年 用		の 間	■ 1年度分	-	□ 1	年未満
所	有		形	態		自己]所	有] 他	1者原	桁									
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	部(>	その化	也)
共口	告範囲	n i	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	,			商業施設	(飲:	食)	
羊区	口即进	ひ土	:/Ca/	力还		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	0	4	1		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店		■ ∌	非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	ミエネ 、	ルギ	一電		□ 証書によ の利用	る環	境価	値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	11	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	22	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	4 23	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 1.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計		4.	17 W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(c) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	45,485.0	9.76	443.9	0.4890	22.2
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 443.9		⁽¹⁵⁾ 22.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,694.0			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	1,694.0	/		0.4000	0.7
	<u> </u>	合 計							1.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対				その他対策	
		対策番号		対策名		対策番号	対策名	
組糸	織体制の整備							
正)	ネルギー等の用状況の把握							
						C101	空室・不在時等のこまと	かな消灯
省	運用対策							
自エネルギ								
 	設備保守対策							
	設備導入対策							
5 :	責年度の目標達成 提出年度の地球	《温暖化対		対した。				
1	標の有無	口 有 ベンチマー:	無		ランク	Ico	2削減率(前年度比)	%
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC		2排出量(総量)	t
		その他		特記事項は				
	# I. → → - 							
) 	特記事項							

1 事業所等の概要

	. , , . ,	∑ 1 · · 1	- 100	<u> </u>																	
事	業彦	等	の名	称	立丿	川公	園陸	生生	競技	場											
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	4	1							
١.					Ŧ	1	9	0		0	0	2	2	区	市町	村:	名 東京	都立川市	i		
事	業所	等 0	所 在	土地	町以	名 番	F 地 下	錦町	ſ6−:	29-	62						_				
事	業所	等の	延床面	重積		20	,536	.00	m^2		業 ア ネ ル				責 年 用		の 間 ■ 1	1年度分	. [☐ 1 ⁴	年未満
所	有	Î	形	態		自己	1所1	有] 他	1者前	桁									
報	牛	i i	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	・ナン	/ト)		□建	物の一	部(そ	の他	<u>怕</u>)
土口	生然 国	I	- ナ フ ロ	口公		事務	所					商業	纟施調	没(物	勿販)		□商	業施設	(飲食	()	
羊区	告範囲	ゴリノゴ	こにつ月	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	設			■ そ	の他			
に	本 標 おける	5細2	分類番	争号	8	0	4	1	連	鎖化	と事業	業区 2	分		直営	店		加盟店		■ 非	丰該当
再の	生可育	能工 用	ネルキ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電		証書によ の利用	る環:	境価値	値
前か	年度らい		设 告 内 定 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	④ 0	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	kg-CO ₂ /m ²

	燃料等の	<u>田里(1971)</u> 種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	771111111111111111111111111111111111111	111/4 4	使用	1	6	7	(3) (8)=(6)/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.[45].	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	35.1	50.80	1.8	0.0161	0.1
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.5	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1.8		0.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	817.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	817.0	$\overline{}$		0.4000	0.3
	-	合 計				/			0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所		の名	称	錦田	丁庭	球場	<u>1</u>															
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	4	2				_					
					₹	1	9	0	_	0	0	2	2	区	市	町	村	名	東京都立川	川市			
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	* 地下	錦町	ī5—:									_					
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		7	,507	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の :	実 <i>i</i> ・使	績	年 用:	度期	の間	■ 1年度	分		1年	未満
所	有	•	形	態		自己]所	有		〕他	1者列	斤有											
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)— [‡]	郭(ラ	ーナ、	ン	١)			〕建物の	一部	(そ	の他)	
也	告範囲	I M F	ーたスH	1.2		事務	所					商業	纟施	没(4	物	販)			〕商業施	設(負	次食)	
羊区	口即进	リマノゴ	こにの月	1 还		工場	<u>司</u>					複合	施	設					●その他				
	本 標 おける	細	分類番	号	8	0	4	6		鎖化	(事業	業区2	分		ļ	直営	店		□ 加盟	店		非調	亥当
再の	生可能 利	とエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	レギ、	一電		□ 証書(の利月		環境	価値	
前か	年度らる	の 朝 り <i>ਭ</i>		容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 8	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 17	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 2.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・シ) 11/1	推計		4.	17 W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(c) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	35,617.0	9.76	347.6	0.4890	17.4
規則]第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 347.6		17.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	353.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	353.0	/		0.4000	0.1
	-	合 計							0.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		重点対策			その他対	策
		対策番号	対策ク	Ż	対策番号	対	策名
組糸	職体制の整備						
エン使り	ネルギー等の 用状況の把握						
		C115	事務用機器を業務終	了時に停止	C101	空室•不在時等6	つこまめな消灯
省エネ・	運用対策						
ルギー 対策	設備保守対策						
	設備導入対策						
5	責年度の目標達成 提出年度の地球	^え 温暖化丸		0			
目相	標の有無	ベンチマー	(延床面積当たり)	ランク kg-CC 事項に内容を	O_2/m^2 CO	,削減率(前年度比) 排出量(総量)	9. t
3 :	特記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	多層	擎川	緑地	地野3	球場												
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	4	3							
					₹	1	9	0	_	0	0	2	3	区ī	市町	村。	名〕	東京都立川市	Ħ		
事	業所	等 の	所在	地	町。以	名 番	f 地 下	柴峪	新 5												
事	業所等	多の多	延床面	ī積		72	,075	5.00	m^2			「等 レギ			責年 用:		の 間	■ 1年度分	>	□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	引所を	有] 他	1.者页	斤有									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	部(-	その作	他)
共口	告範囲	\mathcal{L}	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	(飲:	食)	
羊区	口軋团	Vノ土	こでの月	力还		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	0	4	1		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店		■ 🦻	非該当
再の	生可能	とエ 用	ネルキ 状	況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の	.可能 受入	ミエネ 、	ベルギ	一電		□ 証書に』 □ の利用	よる環	境価	i値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	④ 0	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		H = 1 - 1 1 1 1	推計		法 田目	区业	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の出	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	1,963.0	9.76	19.2	0.4890	1.0
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 19.2		1.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	745.0			0.2660	0.2
他	公共下水道	-		m^3	745.0			0.4000	0.3
		合 計							0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	練月	戊館															
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	4	4							
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	2	3	区ī	市町	村	名	東京都立川市			
事	業所	等 <i>Œ</i>	所 在	地	町。	名 番	地 下	柴崎	5町1	-5-	-7										
事	業所等	争の	延床面	ī積		1	,286	.58	m^2			了等 レギ			責年 用		の 間	■ 1年度分] 1年	三未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)]建物の一部	『(そ	の他)
华口	告範囲	(a)	-たて H	1.2		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			〕 商業施設(飲食)	
羊区	口軋团	リリノユ	こに公开	1 还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	0	4	1	連	鎖化	/事	美区 2	分		直営	店		□ 加盟店		非	該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ fの設	ルギ 置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書による の利用	る環境	危価値	1
前か	年度らの			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 5	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 11	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 8.5	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	<u>— 100 (1010 (2)) (101</u>	田田 (1) 1 (1)	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	525.9	45.00	23.7	0.0136	1.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	21,260.0	9.76	207.5	0.4890	10.4
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 231.2		11.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	388.0			0.2660	0.1
他	公共下水道	_		m^3	388.0			0.4000	0.2
		合 計							0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

	1 /10//		- 100	_																
事	業所	等	の名	称	泉町	丁野:	球場	<u> </u>												
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	4	5						
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	5	区	市町	「村	· 名	東京都立川市	•	
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	F 地 下	泉町	786	-13	3									
事	業所等	声の る	延床面	ī 積		5	,542	.00	m^2		業				責 年 用					1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	者原	桁								
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—≒	郭(ラ	ーナン	/ト)			□ 建物の一部	羽(その	の他)
华口	告範囲	σ	・ちて日	日次		事務	所					商業	纟施言	没(非	勿販)			□ 商業施設(飲食)
羊区	口軋团	()土	こにの月	月还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没			ı	■その他		
に	本 標 おける	細り	分類番	子号		0	4	1		鎖化	(事)	美区 2	分		直常	営店	i	□ 加盟店	•	非該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ベルキ		電	□ 証書によ の利用	る環境	価値
前か	年度ら			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 1	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		H = 1 - 1 1 1 1	推計			15. 半1.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の出出	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	3,944.0	9.76	38.5	0.4890	1.9
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 38.5		1.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	254.0	/		0.2660	0.1
他	公共下水道	-		m^3	254.0	/		0.4000	0.1
		合 計				/			0.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所		の名	称	泉町	丁庭	球場	<u>1</u>															
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	4	6									
Ī.					Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	5	区	市	町	村	名	東京都立り	川市			
事	業所	等 σ.	所 在	地	町以以	名番	F 地 下	泉町	786									-					
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		2	,925	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の - -	実 <i>i</i> ・使	績 [年 用:	度期	の間	■ 1年度	分		1年	未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		〕他	1者列	斤有											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ、	ン	ト)			〕建物の	一部	(そ	の他))
報	告範囲	の主	たる用	計涂		事務							É施		物	眅)			101/00	設(館	次食)	
L						工場	1 7					複合	施	設					■ その他				
	本 標 おける	細	分類番	号	8	0	4	6	連	鎖化	(事業	業区:	分		Ī	直営	店		□ 加盟	店		非語	該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	レギ、	一電	Ė	□ 証書(の利月		環境	価値	Ī
前か	年度らる			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 7	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 13	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5) 4.4	$kg-CO_2/m^2$

		田玉(1421-11)	推計		//. III II	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
700	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	28,060.0	9.76	273.9	0.4890	13.7
規則	第5条の17第3項	[の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽¹⁴⁾ 273.9		13.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	154.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	154.0	/		0.4000	0.1
		合 計				/			0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	砂厂	川中	央地	也区2	北野	球場	<u>ヨ</u>										
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	4	7							
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	3	1	区ī	市 町	村。	名	東京都立川市			
事	業所	等 0	所 在	地	町。	名 番	地 下	砂川	町5	-26	-1										
事	業所等	争の	延床面	ī積		8	,800	.00	m^2		業				責年 用:		か 間	■ 1年度分		1年	未満
所	有		形	態		自己	引所不	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	テナン	/ト)]建物の一部	『(そ	の他)	
华口	告範囲	i on i	ーたスH	1.2		事務	所					商業	(施	没(物	加販)			商業施設(飲食)	
羊区	口即进	リマノゴ	こに公开	1 还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	設				その他			
に	おける	細	分類番	号	8	0	4	1	連	鎖化	/事	業区 2	分		直営	店		□ 加盟店		非調	亥当
再の	生可育	とエ 用	ネルキ 状	江況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書による の利用	る環境	価値	
前か	年度らの		设 告 内 安 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 0	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	· 種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	2,663.0	9.76	26.0	0.4890	1.3
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	26.0		1.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	514.0	/		0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	514.0	/		0.4000	0.2
		合 計				/			0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	砂厂	川中	央地	区区	庭球	場												
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	4	8								
					Ŧ	1	9	0		0	0	3	1	区	市	町	村	名	東京都立川市	Ħ		
事	業所	等 の	所 在	地	町夕以	名番	新地 下			-41												
事	業所等	争の多	延床面	ī積		2	,836	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の <u>:</u> _	実績使				の間	■ 1年度分	>		1年未満
所	有		形	態		自己	1所7	钉] 他	者列	斤有										
報	告		範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	郭(ラ	テナ	ント	.)			〕建物の一	部(その	他)
扣	告範囲	i n i	- たて日	1 1/2		事務	新					商業	き施 き	没(4	物則	反)			〕商業施設	(飲	食)	
羊区	口即近	リリノユ	こにの月	1 歴		工場	景					複合	产施言	設					●その他			
	おける	細		号	8	0	4	6	連	鎖化	(事業	業区 :	分		直	Ī営	店		□ 加盟店			非該当
再の	生可能 利	ピエ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備			_			三可能) 受 <i>入</i>		ネル	ギ	一電	Ì	□ 証書に』 の利用	にる弱	環境化	话值
前か	年度らる			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 0	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計			15. 半4.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者の乗り取り	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	2,453.0	9.76	23.9	0.4890	1.2
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 23.9		1.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	91.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	91.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

業	所	等	の <i>3</i>	名 称	見景	影橋	公園	野理	求場														
当		所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	4	9									
				,	Ŧ	1	9	0		0	0	3	1	区	市	町	村	名	東京都立	川市			
業	所《	等 <i>€</i>	所	在地	町。以	名 番	* 地下	砂川										-					
業月	听 等	* の	延床	面積		10	,535	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 <i>終</i> ・ 使	漬 [年月月	度期	の間	■ 1年月	度分] 1	年未満
	有		形	態		自己	1所1	有] 他	者列	斤有											
	告		範	囲		建物	物の全	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	部(ラ	ーナ	ント	·)] 建物の)一剖	ડ(સ	<u>-</u> のf	也)
生 . 数	소파	$\sigma \rightarrow$	- t- Z	田冷		事務	新					商業	き施!	没(‡	勿具	反)			〕商業旗	b設(1	飲食	()	
口申	U I	ひ土	1/20	用述		工場	景					複合	}施	設					■ その他	1			
おり	ナる	細	分類	番号	8	0	4	1	連	鎖化	(事業	業区 :	分		Ī	直営	店		□ 加盟	店		■ ∌	丰該当
		ミエ. 用	ネル 状							_					ネル	ギ	一電	Ė			環境	境価	値
年らら																							
	業業に	業業所有告標け可利度	業 所 等 の 業 無 無 なお 生 年 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	業 所 番 業 所 等 の 所 業 所 等 の 延 来 有 ち 毎 年 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分れ状 生可能用 年度の報告内容	業所番号A 業所等の所在地 以 業所等の延床面積 有 形 態	業所番号A 1 業所等の所在地 丁 1 町以 業所等の延床面積 有 形 態 ■ 自己 者 範 ■ 自己 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準産業類 8 0 本標準の報告内容	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 0 年 業所等の所在地 〒 1 9 0 町以 名番地 砂川 名番地	業所番号A 1 0 0 0 0 年 1 0 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 で 1 0 0 0 0	業所番号A 1 0 0 0 0 一	業所番号A 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	業所番号A 1 0 0 0 0 0 1 1	業所番号A 1 0 0 0 0 0 1 4 業所等の所在地 T 1 9 0 0 0 0 3 1 業所等の延床面積	業所審 号 A 1 0 0 0 0 0 1 4 9 業所等の所在地 「T 1 9 0 0 0 0 3 1 区 「T 1 9 0 0 0 3 1 区 「T 2 番 地 び が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	業所番号A 1 0 0 0 0 0 1 4 9 業所等の所在地 「 1 9 0 0 0 0 3 1 区市 町 名番地 以	業所番号A 1 0 0 0 0 0 1 4 9 業所等の所在地 T 1 9 0 0 0 0 3 1 区市町 以 3 番 地 以 5 番 地 以 7 を 1 9 0 0 0 3 1 区市町	業所番号A 1 0 0 0 0 0 1 4 9 業所等の所在地 T 1 9 0 0 0 0 0 3 1 区市町村 T 1 9 0 0 0 0 3 1 区市町村 T 2 番 地 以	業所番号A 1 0 0 0 0 0 1 4 9 業所等の所在地 「T 1 9 0 0 0 0 3 1 区市町村名 「T 1 9 0 0 0 3 1 区市町村名 「T 2 番 地 ひ川町3-12-1 業所等の延床面積 10,535.00 m² 事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 有 形態 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ を制御の主たる用途 □ 事務所 □ 産物の一部(テナント) □ 持続田の主たる用途 □ 事務所 □ 富素施設(物販) □ 有差に登録の分類番号 8 0 4 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 生可能エネルギー 利用状況 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電気の受入 年度の報告内容	業所番号A 1 0 0 0 0 0 1 4 9 業所等の所在地 「 1 9 0 0 0 0 3 1 区市町村名 東京都立 町 名番地 以 5 番 地 以 7 単 7 1 9 0 0 0 3 1 区市町村名 東京都立 町 3 番 地 以 8 単 6 目 7 日 1 9 0 0 0 3 1 区市町村名 東京都立 東京都立 本標準産業分類 8 0 4 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟 年度の報告内容	業 所 番 号 A 1 0 0 0 0 − 0 1 4 9 業所等の所在地 町 A 番 地 砂川町3−12−1 業所等の延床面積 10,535.00 m² 事業 所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部 告範囲の主たる用途 本標準産業分類おける細分類番号 生可能エネルギー □ 有生可能エネルギー □ 有生可能エネルギー電 □ 証書による の利用 年度の報告内容	業 所 番 号 A 1 0 0 0 0 − 0 1 4 9 業所等の所在地 町 名 番 地 以 A 番 地 以 B 事業 所等の実績年度の エネルギー 使 用 期 間 ■ 1年度分 [業所番号A 1 0 0 0 0 0 1 4 9 業所等の所在地 「T 1 9 0 0 0 0 3 1 区市町村名 東京都立川市 町 名 番 地 砂川町3-12-1 業所等の延床面積 10,535.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1 有 形態 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ 性者所有 □ 使者所有 □ 使者所有 □ 使者所有 □ 使者所有 □ で変素を設し、物販 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 有業施設(飲食) □ 有業の一部(その付金を設定する組分類番号 □ 有事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ で変素を設備の設置 □ である組分類番号 □ 有生可能エネルギー □ 有生可能エネルギー □ 所生可能エネルギー □ 不生可能エネルギー □ 不力利用 状況 □ 不生可能エネルギー □ 不生可能エネルギー □ 不生可能エネルギー □ 不生可能エネルギー □ 不力利用 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 2	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 5	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 5	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		日三 (1) 1 4 (4)	推計			开 . 业.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の #= m	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	11,255.0	9.76	109.8	0.4890	5.5
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					109.8		5.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	407.0			0.2660	0.1
他	公共下水道	-		m^3	407.0			0.4000	0.2
		合 計							0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	→ ₹	番町	少年	野野	求場												
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	5	0							
					₹	1	9	0		0	0	3	3	区	市町	村	名	東京都立川市			
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	* 地下	一番	〒6	-17											
事	業所等	多の多	延床面	ī積		4	,200	.00	m^2			「等 レギ			責 年 用		の 間	■ 1年度分] 1 ⁴	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)]建物の一部	部(そ	の他	<u>µ</u>)
共口	告範囲	\mathcal{L}	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	勿販)			〕 商業施設(飲食	£)	
羊区	口軋团	Vノ土	ここの月	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没				●その他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	0	4	1		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店		■ 非	該当
再の	生可能	とエ 用	ネルキ 状	· 況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の	可能受入	ミエネ 、	ベルギ	一電	,	□ 証書によ の利用	る環境	竟価値	直
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 0	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の)種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(1)=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,538.0	9.76	15.0	0.4890	0.8
規貝	川第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					15.0		0.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	125.0			0.2660	0.0
他	公共下水道	_		m^3	125.0	$\overline{}$		0.4000	0.1
	_	合 計				/			0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	中島	里野	球場	<u>1</u>															
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	5	1									
	_				Ŧ	1	9	0	-	0	0	3	4	区	市	町	村	名	東京都立	川市			
事	業所	等 σ.	所在	地	町。	名番	* 地 下	西砂		-47													
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		9	,892	.00	m^2	事之	業 ア ネ ル	「等 レギ	の - -	実 <i>i</i> ・使	績 [年 用:	度期	の間	■ 1年月	度分] 1 ^左	F未満
所	有		形	態		自己	1所7	有		〕他	1者列	斤有											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ、	ン	(~)] 建物の)一剖	3(そ	の他	ī)
却	北	I M F	ーたフロ	1 冷		事務	鲚					商業	纟施	没(4	物	坂)] 商業旗	b設(1	飲食	:)	
半収	告範囲	V) ±	こにつけ	1 述		工場]					複合	施	設				I	■その他	1			
	本標 おける	細	分類番	号	8	0	4	1	連	鎖化	/事業	業区?	分		Ī	直営	店	:	□ 加盟	店		■非	該当
再の	生可能	もエ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	レギ	一個	Ē	□ 証書の利	による 用	5環均	竟価値	直
前か	年度ら			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	④ 0	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	kg-CO ₂ /m ²

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	<i>,</i> ,		使用		6	7	(8=(6/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	331.0	9.76	3.2	0.4890	0.2
規貝	第5条の17第3項	[の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	3.2		0.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	474.0	/		0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	474.0	/		0.4000	0.2
		合 計				/			0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

	7 /15/		- 1000																				
事	業 彦	等	の名	称	西荷	沙庭	球場	<u>=</u>															
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	5	2									
Γ.					Ŧ	1	9	0	_	0	0	3	4	区	市	i町	村	名	東京都	立川市	ij		
事	業所	等 σ ₂	所在	地	町以	名 番	F 地 下	西砂	》町3														
事	業所等	等の	延床面	ī積		3	,238	.00	m^2	事	業	「等 レキ	の 	実 ; · 使	績	年 用:	度期	の 間	■ 1 ⁴	丰度分	•		1年未満
所	有	•	形	態		自己]所	有] 他	1者月	ff有											
報	芒	:	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ン	ト)			建物	カ の一:	部(·	その	他)
扣	生統日	i on i	こたる用	1.沦		事務	所					商業	纟施言	没(/	物	販)			〕商業	羊施設	(飲	食)	
平区	口里位	コマノユ	ニルクカ	7.05		工場	<u>크</u> 7					複合	施	設					し その	他			
に	おける	5細2	(業分)分類番	号	8	0	4	6		鎖化	(事)	業区 :	分]	直営	店		□加	盟店			非該当
再の	生可利	能工 用	ネルキ 状	· 況				ミエネ 背の設	ルギ :置	_			三可能 一受入		ネノ	レギ	一電			:書によ 利用	.る雰	環境化	話値
前か		の 執 の <i>落</i>	设 告 内 定 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	④ 0	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計		法田具	区米	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6)/1000)×7	9	(i)=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
mi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,222.0	9.76	11.9	0.4890	0.6
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					11.9		0.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	75.0	$\overline{}$		0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	75.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	砂厂	川中	央地	也区	東野	球場	型が											
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	5	3								
					₹	1	9	0	_	0	0	3	1	区ī	† 町	村。	名東	京都立	川市			
事	業所	等 の	所 在	地	町。以	名 番	争 地 下	砂川	町1	-27	-1											
事	業所等	きの3	延床面	ī積		9	,100	.00	m^2		業				責年 用:		か 間	1年度	度分		1 ^左	F未満
所	有		形	態		自己]所	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の	一部	(そ	の他	Ī)
共口	告範囲	\mathcal{D}	ーたス日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	加販)		□ i	商業施	設(的	次食)	
羊区	口軋团	Vノ土	こに公开	力还		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他	ı			
に	本 標 おける	細	分類番	号号		0	4	1			と事 き				直営			加盟	店		非	該当
再の	生可能	とエ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の	可能受入	ニスネ	ルギ	一電		証書 の利		環境	适価値	直
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	④ 0	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		日三 (1) 1 4 (4)	推計			开 . 业.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の #= m	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					0.0		0.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	216.0			0.2660	0.1
他	公共下水道	-		m^3	216.0			0.4000	0.1
		合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

			重点対	策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備							
I.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
						C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
	運用対策							
省								
エネ								
ル								
ギー								
対策	設備保守対策							
<i>></i> \								
	設備導入対策							
	以师与八八八							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戊した。				
5	提出年度の地球	治による	第の日煙					
<u>,</u> 目		口 有	無無]				
		ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	•	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項	こ内容を	記載		
S	供記車佰							
	NHTK							
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	緑町	丁公	園														
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	6	6							
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	4	区ī	市町	村:	名	東京都立川市			
事	業所	等 <i>Œ</i>	所 在	地	町以	名 番	地 下	緑町	ſ5												
事	業所等	争の	延床面	ī積		2	,960	.00	m^2		業 ア ネ ル				責年 用:		の 間	■ 1年度分		1年末	き満
所	有		形	態		自己	引所不	钉] 他	1者列	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	部(ラ	ーナン	/ト)] 建物の一部	『(そ(の他)	
华 口	告範囲	m i	ーたスH	1.2		事務	所					商業	纟施言	没(牧	り販)			〕 商業施設(飲食)	
和	口軋团	Vノゴ	ニルのカ	7 0匹		工場	크 7					複合	施	没				その他			
に	本 標: おける	細	分類番	号	8	0	5	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		直営	店		□ 加盟店		非該	当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況			:可能 記設備		ルギ 置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書による の利用	5環境	価値	
前か	年度らの			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 0	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 0.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計		(土田 目.	红料	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	3,752.0	9.76	36.6	0.4890	1.8
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 36.6		1.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	589.0			0.2660	0.2
他	公共下水道	_		m^3	589.0	$\overline{}$		0.4000	0.2
	<u> </u>	合 計				/			0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

	地球温暖化対策		重点対	· 策			その他対策	 策
		対策番号		対策名		対策番号		
		A205	取組内容や点	検体制の定期的	的改善			
組	織体制の整備							
	4 1 1 th 10	B106	過去のデータ	による傾向の把	握	B101	自ら入手可能な情	
一使,	ネルギー等の用状況の把握	B107	主要設備の使	用状況の把握		B105	エネルギー使用量	むの前年度比較
						C101	空室•不在時等の	こまめな消灯
						C106	冷暖房温度を都の	の推奨値へ変更
						C109	空室•不在時等の)空調停止
	運用対策							
省エネル								
ギー		D101	ランプ等の定類	期的な清掃・交持	 奐	D104	空調フィルターの	
対 策	設備保守対策					D108	その他設備の定算	朗的な保守・点検
	設備導入対策							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達	成した。]		<u> </u>	
	提出年度の地球			1				
目	標の有無	 有ベンチマー	無無無		ランク	Ico) ₂ 削減率(前年度比)	9/
日村	票値等(選択)		(延床面積当たり)) ₂ 排出量(総量)	
□ 15	示胆守(医が)	CO219F山里 その他	(延休田慎ヨだり)	特記事項に	kg-CC 内容を		/21/11 里 (松里/	t
				111111111111111111111111111111111111111		I/A		
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	緑町	丁北	公園													
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	6	7						
					₹	1	9	0		0	0	1	4	区ī	市町	村。	名	東京都立川市		
事	業所	等 0	所 在	地	町。以	名 番	予地 下	緑町	ſ8											
事	業所等	争の	延床面	ī積		7	,841	.00	m^2		業 ア ネ ル				責年 用:		の 間	■ 1年度分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所7	钉] 他	1者列	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—₽	部(ラ	ーナン	/ト)]建物の一部	3(その	の他)
华口	告範囲	i on i	-たて H	1.2		事務	所					商業	(施	没(物	り販)			〕 商業施設(飲食)
羊区	口即进	リマノゴ	こに公开	1 还		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他		
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	0	5	1	連	鎖化	么事 🤻	美区 2	分		直営	店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能	とエ 用	ネルキ 状	江況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書による の利用	5環境	価値
前か	年度らの			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.2	kg-CO ₂ /m ²

		田玉 (1・>1-11)	推計			开 . 业.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の # E	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	5,655.0	9.76	55.2	0.4890	2.8
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 55.2		¹⁵ 2.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	405.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	405.0			0.4000	0.2
	<u> </u>	合 計							0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		重点対	· 策			その他対策	 策
		対策番号		対策名		対策番号		
		A205	取組内容や点	検体制の定期的	的改善			
組	織体制の整備							
	4 1 1 th 10	B106	過去のデータ	による傾向の把	握	B101	自ら入手可能な情	
一使,	ネルギー等の用状況の把握	B107	主要設備の使	用状況の把握		B105	エネルギー使用量	むの前年度比較
						C101	空室•不在時等の	こまめな消灯
						C106	冷暖房温度を都の	の推奨値へ変更
						C109	空室•不在時等の)空調停止
	運用対策							
省エネル								
ギー		D101	ランプ等の定類	期的な清掃・交持	 奐	D104	空調フィルターの	
対 策	設備保守対策					D108	その他設備の定算	朗的な保守・点検
	設備導入対策							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達	成した。]		<u> </u>	
	提出年度の地球			1				
目	標の有無	 有ベンチマー	無無無		ランク	Ico) ₂ 削減率(前年度比)	9/
日村	票値等(選択)		(延床面積当たり)) ₂ 排出量(総量)	
□ 15	示胆守(医が)	CO219F山里 その他	(延休田慎ヨだり)	特記事項に	kg-CC 内容を		/21/11 里 (松里/	t
				111111111111111111111111111111111111111		I/A		
6	特記事項							